

教育改革の方向性と「教育の情報化」

【新しい時代に必要となる資質・能力の育成】 (中央教育審議会諮問)

- ◆ 自立した人間として、他者と協働しながら創造的に生きていくために必要な資質・能力
- ◆ 何事にも主体的に取り組もうとする意欲や、多様性を尊重する態度、他者と協働するためのリーダーシップやチームワーク、コミュニケーション能力、豊かな感性や優しさ、思いやり等

《教育課程企画特別部会》

(論点整理)

- ◇ **情報や情報手段を主体的に選択し活用していくために必要な「情報活用能力」**を、各学校段階を通じて体系的に育む
- ◇ **プログラミングや情報セキュリティをはじめとする情報モラル**などに関する学習活動の充実を発達段階に応じて図る
- ◇ 情報科は、**情報と情報技術を問題の発見と解決に活用するための科学的な考え方を育成する共通必修科目**の設置を検討(あわせて選択科目も検討)
- ◇ 外国語教育等における**ICTの効果的な活用**
- ◇ **ICTも含めた必要なインフラ環境の整備**を図ることが重要

《高大接続システム改革会議》

(中間まとめ)

(新テストの対象教科・科目)

- ◇ 「高等学校基礎学力テスト(仮称)」情報は、**問題の発見と解決に活用するための科学的な考え方等を育成するもの**として対象科目に加えることを検討
※次期学習指導要領における中央教育審議会の審議も踏まえ検討し、具体化に取り組む
- ◇ 「大学入学希望者評価テスト(仮称)」教科「**情報**」に関する**中教審の検討と連動しながら、対応する科目を実施**
(出題・解答・成績提供方式)
- ◇ 「高等学校基礎学力テスト(仮称)」
 - ・ **記述式問題及びCBTの導入**(H31~)
- ◇ 「大学入学希望者評価テスト(仮称)」
 - ・ **記述式問題の導入**(H32~)
 - ・ **CBTの導入**(H36~)
※上記の内容について、今後関係者との意見交換を通して更に具体的に検討

《教員養成部会》

(中間まとめ)

- ◇ ICTを用いた指導法については、教員が**授業のどの場面でどのような教材を提示すれば児童生徒の関心意欲を引き出したり、理解を促したりしやすいかという観点や、児童生徒が学習の道具や環境として適切にICTを用いて学習を進めること**を教員が促す観点を含めて授業力の育成を図る必要がある
 - ◇ ICTの実践的活用や情報セキュリティ等を含めた情報モラルなどの**情報活用能力の育成に資する指導に向けた教員研修**が必要
 - ◇ 教員養成段階においても、**ICTを用いた効果的な授業や、適切なデジタル教材を開発・活用**できる力の基礎を育成すべき
- ※教科「情報」の兼任及び免許外指導(約8割)の解消も必要

学校のICT環境整備及び教員のICT活用
指導力向上等は緊急かつ重大な課題

